

放課後子ども教室の活動ボランティア



市議会

今回は放課後子ども教室の活動ボランティアの皆さんにお集まりいただき、エピソードなどについてお話を伺いました。

子どもと友達になれるんですよ。
それがうれしいです。

〈子どもたちのエピソードは？〉

■しばらく休んでいた子と久しぶりに会ったら、お互いにハグをしてね。本当にいっぱい慕ってくれるのがうれしくて、喜んで行っています ■子どもと友達になれるんですよ。それがうれしいです。私の場合、遊んでもらっているという方が正解かもしれませんけれどもね ■去年の成人式に、1年生から遊んでいた子が晴れ着で挨拶に来てくれました

た。ちょっと泣いちゃったけれど、そういうつながりがあるがたいなと ■竹馬とか跳び箱は、一生懸命やる子は、飛べない子が1日で飛べるようになるんです。それを見るのが楽しみです ■私の誕生日に折り紙で顔を折って、お誕生日おめでとって。慕ってくれているのを感じてうれしいです

〈大変なことは？〉

■教育の経験がないから子ども同士が喧嘩みたいになると困ってしまう ■体力がもうきつくなりました。膝が痛いけど、痛いのを忘れて行っています ■言うことを聞かない子もいます。でも、そういう子が少し大きくなって、お祭りでソーランのリーダーをやっている。あのときはうれしかった ■3、4年生の男の子は大変ですよ、暴れるし。でも高学年、中学生になるとすっかりお兄ちゃんになるんです。子どもはどんどん成長する。いなのかな

たずらとか言うことを聞かないのも成長過程なのかな

〈皆さんの小さいころの遊びは？〉

■田舎なもので、自然が相手でした。泳いだり、鳥にわなをかけた。 ■毎日のように野球をやったり、走ったり、山の中に秘密基地を作ったりね ■川でカニを取ったり、ボイスカウトに入って、いろいろ覚えたりね ■川遊びとか空き地で穴を掘ったり山を作ったり、自然の遊びで夜遅くまで遊んでいましたね ■男の子と一緒に野球とかソフトボールとかドッジボールをやったり、基地を作っていましたね。おてんばだったので、男の子に負けないようにやっていた ■学校が終わると田植えとかの家の仕事を手伝っていましたね。そういう子も結構いましたね

〈市議会や市に期待することは？〉

■通学路かな。子ども、自転車、バイク、車と狭い道ですごい所があるので、朝30分だけでもスクールゾーンにならないかな ■クマはどうにかならないかな ■ボランティアの人数がもう少し増えたら。毎回100人も来る子どもを見るにはちょっと少ないかな



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

新しい議会構成が決まりました。

7月31日の第3回臨時会議において役職改選があり、新しい議会構成が決まりました。

議長

臼井建



副議長

窪島成一



議長・副議長就任挨拶
第1回定例会第3回臨時会議におきまして議長、副議長に就任いたしました。
責務の重大さを自覚し、円滑な議会運営に努め、議会の活性化をさらに推進することにより、市民の皆さんに信頼され、身近でわかりやすく開かれた議会を目指してまいります。
市民の皆さんには議会に関心をお寄せいただき、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

監査委員(議会選出)

子籠敏人

監査委員とは？
市の財務や経営に関わる事業の管理を監査するための機関です。市の財務管理やその他行政運営にすぐれた知識・経験を有する人から1人、議員から1人選ばれます。
※変更がないことから、第3回臨時会議では審議していません。

総務委員会

市の将来構想など全体的な政策や企画、財政に関する事、消防や災害など防災に関する事、税金、保険年金などに関する事を主に審査します。

◎委員長
○副委員長

(前列右より)

臼井建

◎中村一広

○清水晃

関口えり子

(後列右より)

堀江武史

増崎俊宏

国松まさき



福祉文教委員会

障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援など福祉や健康に関すること、学校教育、生涯学習、文化財、図書館、スポーツ振興など教育委員会に関する事を主に審査します。

◎委員長
○副委員長

(前列右より)

天野正昭

◎大久保昌代

たばたあずみ

(後列右より)

中村のりひと

村野栄一

しょうじさとし



議会運営委員会

議会を円滑に運営するための委員会です。

【委員長】

ひはら省吾

【副委員長】

よしざわゆたか

大久保昌代 子籠敏人 たばたあずみ

中村のりひと 村野栄一

一部事務組合等

特定の事務を市町村が共同で処理するところです。各団体には議会が置かれ、各市町村選出の議員で構成しています。

阿伎留病院企業団議会議員

浦野治光 たばたあずみ 中村のりひと

原田ひろこ 村野栄一

西秋川衛生組合議会議員

天野正昭 清水晃 中村一広

増崎俊宏 松本ゆき子

秋川流域斎場組合議会議員

大久保昌代 国松まさき しょうじさとし

関口えり子 よしざわゆたか

東京都三市収益事業組合議会議員

ひはら省吾 堀江武史

後期高齢者医療広域連合議会議員

増崎俊宏

公共交通等調査特別委員会

公共交通を充実させるため、JR五日市線、路線バス、るのバス、デマンド交通等の在り方を調査、検討する委員会です。

【委員長】

中村のりひと

【副委員長】

国松まさき

子籠敏人 しょうじさとし 辻よし子

増崎俊宏 松本ゆき子 村野栄一

環境建設委員会

自然環境の保全、農林業や観光商工の振興、生活環境の改善など環境経済に関する事、都市計画、道路管理、下水道など都市整備に関する事を主に審査します。

◎委員長
○副委員長

(前列右より)

窪島成一

◎浦野治光

○原田ひろこ

松本ゆき子

(後列右より)

子籠敏人

ひはら省吾

辻よし子



タブレット等活用推進委員会

市議会におけるタブレット端末の利活用について検討する委員会です。

【委員長】 たばたあずみ

【副委員長】 大久保昌代

国松まさき しょうじさとし 中村のりひと

広報広聴委員会

議会の情報を発信(広報)するとともに、広く市民の意見を把握(広聴)し、議会活動に反映させるための委員会です。

【委員長】 天野正昭

【副委員長】 原田ひろこ

窪島成一 関口えり子 辻よし子 中村のりひと ひはら省吾

会派の紹介

自由民主党志清会

◎堀江武史 天野正昭 臼井建

浦野治光 国松まさき 窪島成一

子籠敏人 中村一広 ひはら省吾

村野栄一 よしざわゆたか

公明党

◎増崎俊宏 大久保昌代 原田ひろこ

日本共産党あきる野市議団

◎たばたあずみ 関口えり子 松本ゆき子

明るい未来を創る会

◎清水晃 中村のりひと

くさしぎ

◎辻よし子

リメンバー

◎しょうじさとし

◎代表者

● 9月定例会議 議案審議 ●

あきる野市の こんなことが決まりました。

9月定例会議 会議期間31日間 8月27日～9月26日

9月定例会議の議案は

市長提出議案…28件

陳情…3件

議員提出議案…3件

今号ではこの中から4つをPick up

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

〈議案第50号〉 あきる野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例

Pickup 1 任期付職員の採用及び給与の支給等について条例を制定します。

専門的な知識経験等を有する者を任期を定めて採用し、その専門性等に応じた給与を支給するに当たり、条例を制定します。

こんな質問・意見が出ました。

Q どのような分野の人材を採用しようとしているのか。また、どのような人材の採用が可能なのか。

A 現時点では、市の危機管理関係の職務を担うことができる人材の採用を検討している。都内26市では、危機管理監、弁護士、IT関係の専門職、広報の専門職を任用しており、自治体の規模や実態により、職の必要性を判断しているものと考ええる。

意見

現在の市の考えは、退職自衛官の採用に限定されており、自衛官の再就職先のための制度と言われかねないため反対する。



意見

危機管理監のみならず、観光プロモーションやDX推進など、その時代が求める専門性ある職員を採用する上で、有効だと考え賛成する。

〈議員提出議案第6-1号〉 再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書

Pickup 3 再審法の改正を求める意見書を出します。

有罪判決を受けてしまった冤罪被害者を迅速に救済するため、再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を国に求めるものです。議員全員が賛成し、意見書を提出します。

・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 法務大臣

〈陳情第6-7号〉 あきる野市小中学校の給食費の無償化を求める陳情

Pickup 2 小・中学校の給食費の無償化を求める陳情は不採択となりました。

公立小・中学校の保護者負担の給食費無償化を早期に実現し、子どもたちの健康に配慮し、地産地消の食材を使い給食の質の向上を求める陳情です。反対議員が多かったため、不採択となりました。

こんな意見が出ました。

意見 無償化が国の責任でないとは言っていない。議会の考えを示すことは二元代表制として当然。

意見

陳情審査時には、市が学校給食費無償化の方針を決定していたので、願意が達成されるため、反対します。

意見

財源に見通しがなく、将来の財政リスクを背負うのは今の子どもたち。求めるべきは国による無償化。

意見

一般質問、市長要望で実現を強く訴えてきた。党の政策と目的を同じくすることから、賛成。



〈議員提出議案第6-2号〉 選挙運動用ポスターに係る公職選挙法の一部改正を求める意見書

Pickup 4 公職選挙法の一部改正を求める意見書を提出します。

今後の選挙の適正な実施に資するため、早期に選挙運動用ポスターに係る公職選挙法の一部改正を国に求めるものです。議員全員が賛成し、意見書を提出します。

・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣

**秋川溪谷戸倉体験研修センター運営管理経費
(商工費) 6694万5229円**

Q 外壁等改修工事において、約9千万円の予算に対し約6千万円もの不用額が出た理由は。



A アスベストの一部撤去を含む改修工事を予定していたが、指定管理者の新四季創造株と協議し、小さい子どもの利用や飲食を提供していることなどから、施設利用者に悪い印象を与える可能性もあったため、令和7年度へ見送ることにした。

Q なぜ、減額補正をしなかったのか。

A 施設の外壁に新たな劣化が発見され、下地補修の追加工事を行う必要が生じたことや、瀬音の湯などの施設の緊急を要する工事に対応するため。

**キャッシュレス決済ポイント還元事業経費
(商工費) 7675万4564円**

Q 事業者と市民にはどの程度の効果があったのか。



A 事業者においては、決済額として約3億2184万円の経済効果があった。また、消費者においては、約5573万円のポイント還元があった。その他の効果として、事業者においては、市外から新たな顧客の獲得やお店を知ってもらえる機会になったことが挙げられる。

**小学校・中学校維持管理一括経費(施設管理)
(教育費) 小学校 1億3991万7726円、
中学校 1億57万4060円**

Q 修繕費が年々増加しているが、令和5年度に増えた要因は。



A 令和5年度は、小学校は9月補正で680万円の増額、12月補正で730万円の増額をしており、合計1410万円の増額。主な要因は、エアコンの故障、大雨による雨漏り、落雷による消防設備等の故障のための修繕といったものが増加の要因になっている。

**道路橋梁の維持補修に要する経費(土木費)
5999万9500円**

Q さくら通りの桜は植樹から25年以上経つと思うが、市はどのように管理しているか。



A 令和4年度に管理計画を作成し、樹木医等の有識者により、それぞれの桜の健康状態をAからEまでの評価を行い、維持管理を行っている。令和6年度も現地調査や調査結果を参考にした剪定作業等を予定しており、事故発生の未然防止に努めていく。

**令和5年度決算をチェック
税金の使い方について質問しました。**

皆さんが納めた税金がどのように使われたか——令和5年度の決算は、9月18日・19日の2日間、決算特別委員会で審査し、9月26日の本会議で、一般会計・特別会計の決算が認定され、公営企業会計の決算が可決及び認定されました。決算特別委員会での質疑の内容の一部を紹介します。

令和5年度各会計決算状況

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	349億3752万296円	344億7734万9806円
特別会計		
国民健康保険	86億3175万872円	85億1376万9854円
後期高齢者医療	25億5897万1376円	25億3709万193円
介護保険	75億3698万7992円	72億8752万1393円
戸倉財産区	499万8853円	337万2409円
テレビ共同受信事業	3812万9829円	3812万9829円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	10億9823万2535円	10億2413万565円
合計	548億659万1753円	538億8136万4049円
公営企業会計		
下水道事業会計	収益的収支	19億4160万1204円
	資本的収支*	13億1242万1928円
		19億1190万6653円
		20億7688万9668円

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額(7億6,446万7,740円)は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

**介護人材確保・定着・育成事業経費(民生費)
590万9745円**

Q 入門的研修(るのヘルパー研修)について、令和5年度の事務報告書では参加者が7人となっている。これまでの受験者数と研修後における事業所とのマッチング状況は。



A るのヘルパー研修は平成29年度から実施しており、令和2年度からは入門的研修兼るのヘルパー研修に形を変え、これまで48人が研修を修了している。研修後のマッチング状況の詳細は把握していないが、研修最終日に実施している就労相談会では、日を改めて事業所に出向き詳細な説明を受ける参加者、その場で就職の意向を示す参加者もいる。

**庁舎維持管理経費(総務費)
1億7136万2450円**

Q 高熱水費の予算額5144万2千円に対し、不用額1472万2185円と大きな額だがその理由は。



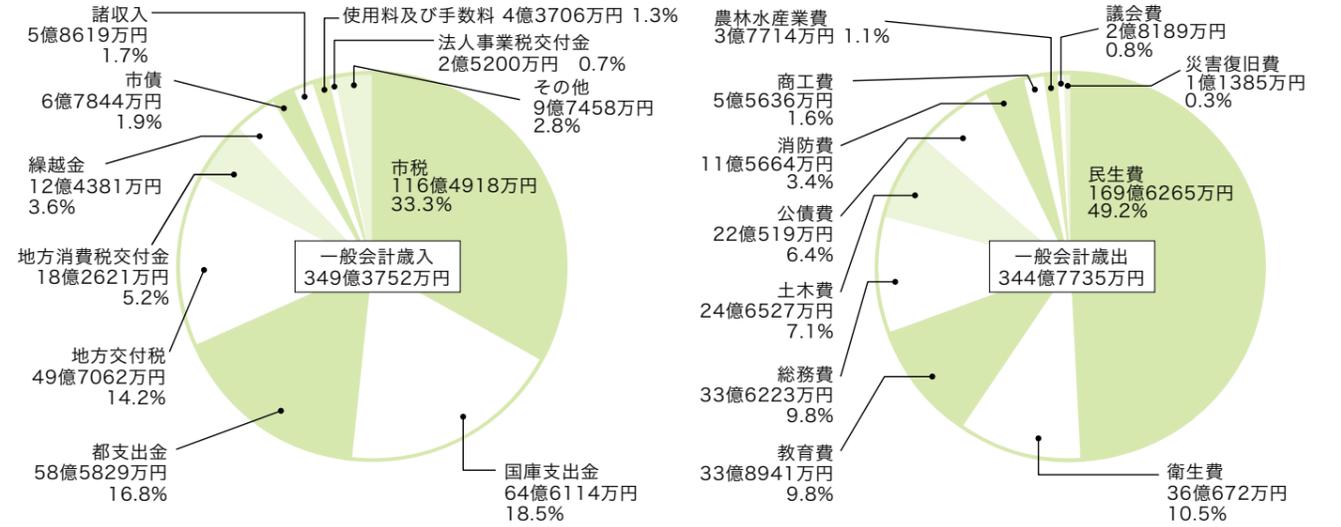
A 主な理由は、電気料金。火力電力に使う燃料の価格変動を毎月の電気料金に反映させる燃料費調整額が大幅に減額されたことにより、電気使用料金が抑えられたため。

Q 燃料費調整額の減少以外の理由は。

A 水の使用について、使用量及び使用料金も下がり、雨水を貯留する貯水槽の有効活用ができた。また、本庁舎に設置のブラインドやロールスクリーンの活用の周知徹底が電気使用量の抑制の一助となっている。

このような理由で一般会計決算の内容に賛成・反対しました。

定例会議最終日に、決算特別委員会で審査した結果をひはら委員長が報告し、令和5年度一般会計決算の内容について、全会派が賛成又は反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。



※グラフや表が見やすいように、1万円未満を端数調整して表記しています。

公明党

賛成

一般会計の市債残高は、前年度比で約20億7千万円減少し基金残高は約3億8千万円増加。実質公債費比率が0.5ポイント、将来負担比率が8.0ポイント減少する等、財政状況の改善努力が伺える。歳入では、市税が前年度比で約5億2千万円の増で大手企業の進出に伴う固定資産税と都市計画税が主な要因。歳出では、住民税非課税世帯や低所得の子育て世帯に対する給付事業、带状疱疹ワクチン接種事業、3歳児健診の視力の屈折検査機器導入、若竹・増戸学童クラブの定員拡充、自転車用ヘルメット購入費助成など、厳しい財政状況ながら、多様な市民要望に合った施策展開が図られた。市民生活の更なる向上に積極的に取り組むよう要望して、賛成討論とする。



大久保議員

くさしぎ

反対

2023年度の実質収支が例年を下回る約5億2千万円に押し下げられたのは、物価高騰対策の給付金の財源である国庫支出金が年度内に間に合わなかったため。国は、自治体に負担をかける給付金支給ばかりではなく、抜本的な経済の立て直しと救済制度の拡充をすべき。決算に反対する主な理由は3点。①市民参加の在り方と公平性に問題のある五日市駅前拠点施設の整備に、設計委託料約3,500万円を支出したこと②戸倉しろやまテラスの外壁改修でアスベスト撤去工事を見送り、約1,300万円を瀬音の湯の修繕に流用したこと③公平性を欠く手法を用いた引田駅北口土地区画整理事業に約9,600万円を、費用対効果に問題の残る公共下水道事業に約11億4千万円を繰り出したこと。



辻議員

明るい未来を創る会

賛成

歳入の根幹をなす市税は、5億1,995万6,964円の増。自主財源の確保については、努力していることを評価。予算編成過程をできる限り市民と共有、説明責任を果たす、そのためには、提案した多摩市が決算の資料として住民や議会と共有している「事業カルテ」。このような資料を是非今後取り入れて欲しい。予見し難い歳出予算の不足に充てる予備費等は、通年議会なので、補正予算での対応を願う。来年度予算編成の更なる精度を期待する。執行率が僅かでも向上したことは評価する。必要な超過勤務は超過勤務として対応し、予算が必要な場合は補正予算を。その上で、次年度の人数や正規職員が会計年度任用職員かなど、任命権を持つ市長の対応を、と思う。



中村のりひと議員

リメンバー

反対

事業評価をする主体も市民であるのが本来の形。その仕組みづくり、公会計が果たすべき役割、非会計情報の重要性は、先にも述べてきた。工夫できることがあれば、予算は、他の事業、他の方のための何かにつながっていく。政策決定のプロセスにおいてももちろん、市民が主役である必要があったが、五日市駅前の施設建設は、そうではなかった。世界では、未だに飢餓で亡くなる方が多い。一方、大量に廃棄される食料など。足りないのは、食料なのではなく、私たちの意識の方。意識が及び、分かち合っていたら、諸問題は解決する。本市は厳しい財政状況。本当に財源が不足していることだけが問題なのか。同様のことが言えると、強く感じる。



しょうじ議員

自由民主党志清会

賛成

厳しい経済状況の中、物価高騰対策や限られた財源を効率的に配分し、各種施策が着実に実行された点を高く評価する。歳入では市税収入が増加し、特に大規模事業所の開設による固定資産税の増収が顕著であった。歳出では、物価高騰対策として住民税非課税世帯への支援やエネルギー・食料品価格高騰支援給付金の迅速な給付は、市民や事業者に大きな助けとなった。公共交通の整備、子育て支援、防災対策等の積極的取組を望む。今後も財政運営の改善を図りつつ、人口減少対策や持続可能な社会の実現に向けた取組を推進する必要がある。来年度の市制30周年記念事業には会派として積極的に協力し、共に盛り上げていければと思う。



国松議員

日本共産党あきる野市議団

反対

個人市民税は横ばい。賃上げはあったものの実質賃金はマイナスで、多くの市民の生活に余裕はなかった。国の悪政が加速、市には悪政から市民を守る防波堤の役割が一層求められたが、多くの問題について、市が市民のために国や東京都に物申す姿勢は不十分だった。何より、武蔵五日市駅前施設の計画が他に例を見ない強引なやり方で進められた。予算討論で、合意形成を重視するとの約束を折りに触れ思い出さず市長に求めたが、図らずも心配が的中し、残念でならない。市民の声を聞き、暮らしをしっかりと支え、市民の安心と満足度を高めることにこそ力を入れるべきだった。



たばた議員

聞いてみたいなこと
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問でああなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 50件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

フレイル予防について



原田ひろこ (公明党)



末までに6か所62人が参加。

フレイル予防に接する機会が少ない市民への周知啓発が課題と考える。相談等も含め取組を進めてはどうか。

後期高齢者医療健康診査の案内に一覧を同封し事業利用を推奨しており、内容の工夫は可能。地域包括支援センターや市役所の保健師による電話相談や訪問相談について、周知方法を工夫していく。

他に認知症の人に寄り添った地域社会の構築、クマ対策を含む獣害対策について質問した。

ヒアリングフレイルの予防事業を導入する自治体が増えているが市の考えは。

アプリ等を活用し予防事業を導入している自治体があると認識。効果などについて情報収集し、事業の有効性を調査・研究していく。

オールフレイルの保健事業と介護予防の一体的な実施事業の内容と実績は。

誤嚥等の予防のため20分程度の健康教育を実施。市内50か所各1回を計画、7月



災害時の水の確保について



国松まさき (自民党志清会)



令和6年能登半島地震を受け、6月定例会議においても上水道の耐震化に対する質問が出た。本市における耐震化は進んでいるものの、飲料水や生活用水への備えは重要と考える。

令和6年能登半島地震を教訓とする水の備蓄に対する課題認識は。

迅速かつ確実に水を提供できる体制を構築することが課題である。また、市民自ら備蓄した水を使用できることが重要となり、こうした防災意識の啓発手段も大きな課題である。

本市の飲料水及び生活用水への備えは。

飲料水については、5436ℓを備蓄。また、水道水を供給できるように、指定避難所に応急給水栓や消火栓から飲料水を供給できる資器材を準備している。さらに、東京都が市内6か所に給水拠点を整備している。

生活用水については、無償で井戸水を提供してもらう災害時協力拠点井戸を活用できるように、確保に努めている。

最悪の場合、災害時に秋川の水を個人的に生活用水として利用することは可能か。

緊急時には、生活用水として取水することは可能。

緊急時には、生活用水として取水することは可能。

緊急時には、生活用水として取水することは可能。



スクールロイヤーについて



よしざわゆたか (自民党志清会)



スクールロイヤーの導入を検討する必要があるかと考えるが、今後、弁護士に対応を依頼するような困難な事案が複数発生した場合などには、改めて導入について検討する。

他に本市における特定犬種の飼育、大規模災害時の医療救護所設置運営マニュアルの運用について質問した。

学校現場における様々な問題は、時代とともに多様化し、その対応も一律では済まなくなってきた。特に近年、専門的な法律知識を必要とする事例も増えていると聞いており、そのニーズに対応するため、学校が弁護士と契約を結ぶスクールロイヤーという存在が注目されているが、本市における現状と今後の考えは。

小・中学校では、様々な問題やトラブルが発生することがあり、近年は、複雑かつ多様な事案が増えている。現在のところ、学校と教育委員会が連携して対応し、解決に当たっており、弁護士に対応を依頼する事案は発生していない。発生した場合、学校が市の顧問弁護士や東京都教育相談センターのアドバイザーズスタッフ等に相談することは可能。現時点では、スクー



くらしの安心について



たばたあずみ
(共産党)



Q 昨年11月に発生した米軍のCV22オスプレイの墜落事故に関して出された事故調査報告書を、市はどう受け止めているのか。

A 市が要請活動で求めた事故の経緯や原因、再発防止策が明らかにされたものと捉えている。

Q 原因となったギアの破断がなぜ起きたのか示されていない。再発防止策として十分ではないか。

A 事故報告書の概要では、ギアの破断などの不具合の内容が説明されている。チェック探知機による予防点検と維持整備の頻度の増加により不具合の予兆を把握、必要に応じて部品の交換をすることなどが示されており、再発防止策は明らかにされたと認識している。

Q 点検と必要な対処をするのは当たり前のこと。この程度の報告で納得も安心もできない。オスプレイの上空の飛行を認めない姿勢を示すべきでは。

A これまでと同様に、市民生活と市民の生命と財産の保護という観点から、必要に応じた要請行動を行う。

他に公共交通と市民生活について質問した。



武蔵引田駅周辺の都市基盤整備について



堀江 武史
(自民党志清会)



Q 武蔵引田駅北口土地画整理事業の今年度の進捗状況は。

A 昨年度末時点での執行率は、総事業費の78・6%。今年度から2か年度にわたり、駅前広場、都市計画道路2路線等の整備を進め、8月から北側に仮設ロータリーを設置した。また、未同意の地権者には誠心誠意話合いに努めている。さらに地域住民から新たな町名の意見を聞く第1回会議を開催した。

Q 秋多都市計画道路3・4・13号線の進捗状況は。

A JR五日市線の北側区間は、来年度末の整備完了に向けて進めている。南側区間は、昨年度に現況測量を行い、今年度からは道路の線形や既設道路との接続方法などの検討を行っている。

Q 秋川高校跡地の産業系土地利用に向けた現状は。

A 産業系企業の誘致に向けて東京都都市計画変更について調整を行っている。

Q 事業地内保留地の売り払い状況は。

A 62区画中33区画は販売済。今年度は10月に8区画、1月に13区画を新たに販売予定。



子育て世代への情報発信について



窪島 成一
(自民党志清会)



令和6年4月から、新しい子育て応援サイトとアプリにリニューアルした。子育て世代が、安心して子どもを産み育てられる環境を充実させていくために、子育て支援の情報が得やすくなる取組は、今後も重要な施策と考える。

Q 新たなサイト及びアプリになって、特に良くなったと捉えていることは。

A サイトでは目的のページに簡単にアクセスできることやイベント情報を表示できるようにになった。アプリでは携帯電話などから、るのキッズWebや子育てガイドブックを簡単に閲覧すること、イベント情報等をプッシュ通知でアプリ利用者へ送信することができるようになった。

Q 新たなサイトの利用件数及びアプリのダウンロード数は。

A 令和6年4月から7月までの期間で、るのキッズWebの利用件数は5万5366件、るのキッズアプリのダウンロード数は2546件。

Q 新たなサイト及びアプリの利用を促進していくための今後の取組は。

A 子育て世代が集まる健診会場や各種イベント会場において、チラシの配布やポスター掲示などの取組を進める。



体験型、サービス提供型のふるさと納税について



大久保 昌代
(公明党)



寄附を通じて地域を元気にする、ふるさと納税の返礼品が多くあるが、体験型、サービス提供型などの返礼品を一層充実させてはどうかと考える。

Q 返礼品の更なる充実に向けて、今後の目標は。

A 寄附額を増やすためには、品目数を増やす必要がある。令和7年度には3百品目以上を達成したい。事業者と連携した商品開発、地域資源を生かした魅力的なサービスを展開したい。

Q 本市の特産の軍道紙づくり体験、小宮ふるさと自然体験教室、養沢センターBBQ・川遊び等や、災害時の防災対策など適用できるのではないか。

Q 本市の特産の軍道紙づくり体験、小宮ふるさと自然体験教室、養沢センターBBQ・川遊び等や、災害時の防災対策など適用できるのではないか。

A 軍道紙づくり体験、養沢センターのクラインガルテン野良坊でのBBQサービス、体験型防災講習については、返礼品として導入できるよ



不登校児童・生徒の対策について



ひら 省吾
(自民党志清会)



Q 不登校児童・生徒の課題は、教育関係者、広く一般家庭等も憂慮するところであり、その解決を図ることは教育の喫緊の課題である。市では様々な取組を行っているが、現在の状況について伺う。

A 市内不登校児童・生徒数及びその推移は。

Q 小学生は令和元年度は44人、令和5年度は139人、中学生は令和元年度109人、令和5年度179人と増加傾向。

Q 現在までの取組状況は。

A 主に3つの取組を実施。1つ目は、教育相談所、せせらぎ教室、スクールソーシャルワーカーと指導室で連絡会を実施。2つ目は、空き教室等を活用し、校内カラフルルームを設置。3つ目は、秋多中学校内に不登校対応校内分教室(チャレンジクラス)のR)を開設。指導員、家庭への支援等の取組状況は。

Q 校内別室指導支援員を小学校2校、中学校4校に、家庭と子どもの支援員を小学校9校、中学校3校に配置。また、スクールソーシャルワーカーを1人増員した。



持続可能なまちづくりについて



増崎 俊宏
(公明党)



人口減少に歯止めをかけ、少子化の流れを反転させるには、若年世代が将来に希望を持てる環境づくりこそ急務であると考えます。

Q 近年の人口動態及びその分析は。

A 平成27年度から減少傾向だが、本年4月1日現在、生産年齢人口は将来人口を上回っている。収入の安定や出産を機に、本市に住宅を購入する30代以降の人が多い。

Q 将来の人口の推移について、近隣自治体との比較は。

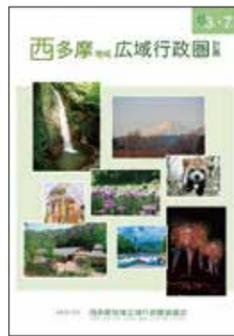
A 西多摩8市町村の合計で24・18%減少。本市単独の数値は16・04%で、人口減少が比較的緩やか。30代以降は転入超過となっている。

Q 若者世代への支援が重要であり、住宅購入補助など、住宅確保の支援が必要と考

Q 移住・定住を積極的に進めていくのであれば、都市ガスの普及促進にも取り組むべきと考えるが市の見解は。

A 市街地整備等の進捗を踏まえながら、ガス事業者と調整を図り、普及促進に向けた取組等の検討に努める。

Q 他にハラスメント対策、不登校等の生徒への成績評価について質問した。



市内事業所の人材確保について



中村 一広
(自民党志清会)



市内の事業所で人手不足が一番の課題であると経営者からよく聴く。

Q 近年の市内の事業所数は。平成28年度では2349事業所、令和3年度では2191事業所となっており、減少傾向にある。

Q 高校生等の新卒者が地元の仕事で働けるよう、更に推し進めては。

A 地域の雇用促進や人材確保のため重要である。インターンシップ等の取組は、商工会等と情報共有を図りながら支援していく。

獣害対策について



子籠 敏人
(自民党志清会)



最近の獣害被害は、農業被害から生活被害に変化していると言われ、市民の間でも大きな問題となっている。サルやクマ、イノシシ、シカに対する獣害報告LINEアプリが奥多摩町で開発された。本市でも導入を検討してはどうか。

Q 獣害対策を更に推進するには、アプリによる目撃情報や被害状況の把握などが広域的に行われることが効果的であると考えます。近隣自治体や東京都に意見を聴きながら検討していく。

Q 市長の考えは。

A 首長間の協力体制を強化し、獣害という共通の課題を持つ近隣自治体との連携については、アプリの導入をはじめ、様々な意見交換を活発に行い、首長間でも連携した取組について検討していきたい。

Q 他にアドバンス・ケア・プランニング、自殺対策推進計画、親子連れ投票について質問した。

Q 市が先頭に立って、関係機関と連携し、マッチングや地元事業所の仕事を直接見る職場見学会の機会を定期的作るべきだと思いが、いかがか。

A 市内事業所に限定して実施できるか、可能性を含めて今後検討していく。

Q 市ホームページを活用して事業所の求人募集や関係機関の問い合わせを掲載しては、企業や求職者の方が就労に関する情報を得られやすいよう、市ホームページも活用し更なる周知を図っていく。他に消防団の状況について質問した。



Q 本市でもクマの出没が相次いでいる。市民がクマと出会った場合に取るべき行動をマニュアルとして作成し、市民に周知を図っては。

A パソコンに不慣れな方にも情報提供できるようにリーフレットを作成し、目撃情報が多い地域に全戸配布する



児童クラブにおける夏季休暇中の学校体育館の使用について



辻 よし子
(くさしぎ)



Q 猛暑により昨年・今年の夏休み、4つの児童クラブでは外遊びができず、6つの児童クラブでも平均6〜8回しか外遊びができなかった一方、学校体育館は夏休みの日中利用されずに空いていることがわかった。全児童クラブが夏休み毎日4時間体育館を使った場合の冷房の電気料金は約30万円とのこと。そこで、来年から全児童クラブで学校体育館を利用できる体制を整えることはできないか。

A これまで利用実績のある児童クラブの利用状況等を参考に、現在、体制の構築に向けて、現状把握などの取組を進めている。

Q 児童館としても体育館を利用できるようにできないか。安全対策のための職員増員や児童クラブとの利用の兼ね合い等の課題を考慮しながら、調査・研究を進めていく。

他に生活保護受給世帯へのエアコン設置補助、市民自治に基づく情報共有と協働の在り方について質問した。



PFAS汚染について



関口 えり子
(共産党)



Q PFAS汚染問題に関して、市の取組は。

A 東京都が定期的に行っている市内の調査箇所において、国が定める暫定目標値の超過は確認されていない。調査結果等については、市ホームページに掲載している。

Q 都は、都内全域の水質調査を行っている。本市においては、市内4か所の地下水を調査しているが、どの地点での調査なのか、情報提供はされているか。

A 都が調査を実施している市内の調査地点は把握している。

Q 本市が汚染の水質調査をしている最低7か所でPFASの調査をするべきだと思いが、見解は。

Q 本市では、都が実施した調査の結果、暫定基準を超過する値は検出されていないため、現時点では、市独自でPFASの調査を行うことは考えていない。

Q 市が独自で調査を実施する場合、1か所当たりのコストは。

A PFOS、PFOAの分析コストは市の環境調査を行う業者に委託した場合、1検体およそ8万円の見積りとなる。



他に公共施設の維持・管理について質問した。

学校給食費の無償化への取組について



浦野 治光
(自民党志清会)



Q 市は、既に、物価高騰に伴う給食材料費と給食費の差額分を補填する措置を講じているが、更なる保護者負担の軽減策が必要と考える。市の将来にわたる財政状況を踏まえた中で、学校給食費の無償化への取組を伺う。

A 学校給食費の無償化は、本来、自治体ごとの政策として実施するものではなく、自治体間の格差が生じないよう国全体で取り組むべき政策であると考え、でき得る負担軽減策を検討し、実施したいと考えている。



Q この無償化について、我々が希望書を提出しており、その想いを実現しようとする市の決断に敬意を表す。無償化には、条例などの規定の整備が必要であり、財政状況を加味した制度設計も重要となるが、無償化の程度やその実施時期などを聞きたい。

A 無償化の程度は、保護者負担の軽減に配慮しつつ、財政状況や将来にわたっての負担などを考慮した上で、でき得る範囲で策を講じた。実施時期は、ある程度時間を要するが、速やかに実施できるよう努める。

他に終活支援の取組について質問した。

防災行政無線について



村野 栄一
(自民党志清会)



令和4年6月定例会議の一般質問で防災行政無線の夜間の火災放送について伺ったが、その後の進捗について伺う。

Q 当時の答弁では今後の取組について、放送区域の限定や、屋外放送に代えて戸別受信機を利用することを視野に入れて検討すると述べていたが、その後は。

A 取組の状況は、火災放送の区域を限定する方策として、出火場所に対応した消防団の出動範囲や応援区域のグループ化、遠隔操作機器のプログラム改修等、見直しを検討している。また、戸別受信機については、現在、受信状況を調査している。

Q 防災行政無線の火災放送は夜間に限らず、多摩地域では20市が放送をしていない。将来的には本市においても放送をしない環境の整備を



望むが、消防活動を考慮して、早急に区域限定の放送はできないか。

A 消防団員への区域限定の放送についての周知徹底、プログラム改修に係る予算確保、秋川消防署担当者への操作方法の研修、市民への周知などが必要と考える。将来的に放送しない環境については、夜間区域限定放送の評価を行い、その後、防災行政無線の運用について研究をしていく。

他に職員の勤務改善と女性の活躍について質問した。

新型コロナウイルスワクチン接種について



しょうじ さとし
(リメンバー)



ワクチン接種は、流行当初、急を要するとして始まり、形を変えながら続けられている。異例づくめのワクチン接種であり、今後、一層の懸念がある。

Q レプリコンワクチンについてはいかがか。
A 現段階において、国から情報が提供されていないため、今後の国の動向を注視する。

Q 新型コロナウイルスワクチンであるメッセンジャーRNAワクチンの作用機序を、市はどう理解しているか。
A 厚労省のHPに示されているとおりで、ウイルスを構成するタンパク質の遺伝情報投与し、その遺伝情報をもとに、体内でウイルスのタンパク質を作り、そのタンパク質に対する抗体が作られることで、免疫を獲得するのだと理解している。

Q 令和6年10月からは、定期接種となったことで、予防接種健康被害救済制度の対象や内容に変化があると認識しているが、どのようなものか。
A 対象は定期接種の対象の65歳以上の人など。内容は医療費、医療手当の支給対象が入院相当の医療に限定され、障害年金は、1、2級が減額、3級の区分がなくなくなり、死亡の補償にも変更がある。

Q 令和5年度決算に基づく、実質公債費比率は4.4%、将来負担比率は14.1%、財政力指数は0.689及び経常収支比率は98.8%であるが、多摩26市中何番目か。また、この4指標の今後の改善策は。
A 実質公債費比率が26番目、財政力指数が25番目、将来負担比率及び経常収支比率が24番目。引き続き市債の新規発行の抑制や交付税算入のある地方債の活用等、適切な発行管理に努める。

Q 令和5年度末の一般会計、特別会計、公営企業会計及び一部事務組合を含めた市債等の元金及び利子の残高は。また、市民一人当たりにするといくらか。
A 元金が約448億5081万円、利子が約19億6848万円、合計で約468億1929万円。市民一人当



他に本市の財政における新地方公会計の活用状況について質問した。

財政状況について



しみず けんじ
(明るい未来)



たり、元金は約56万5千円、元金と利子の合計は約58万9千円となる。

Q 臨時財政対策債の令和5年度末の元金及び利子を含む残高は132億4506万4千円であるが、今後も満額の発行を続けるのか。
A これまで発行可能額の満額を発行してきた。今後この基本的な考え方を踏襲していく。国による発行抑制の取組が急速に進んでいるため、慎重に制度の動向を注視し、予算編成の状況等を踏まえ適切に対応する。

Q 令和5年度末の一般会計、特別会計、公営企業会計及び一部事務組合を含めた市債等の元金及び利子の残高は。また、市民一人当たりにするといくらか。
A 元金が約448億5081万円、利子が約19億6848万円、合計で約468億1929万円。市民一人当



医療的ケア児について



なかむら りひと
(明るい未来)



Q 医療的ケア児の一時預かりを保育園等で実施できないのか。
A 職員体制と既存設備を変えずに実施する事業であることから、現在は受入れが難しい。事業者に見解を聞き、他自治体の事例も参考に調査・研究を進める。

Q 医療的ケア児の入所を行っている施設は、保育所の1施設。この施設は、未就園児の定期的な預かり事業で、医療的ケア児を1人受け入れている。
A 医療的ケア児の入所を行っている施設は、保育所の1施設。この施設は、未就園児の定期的な預かり事業で、医療的ケア児を1人受け入れている。

Q 事業者と意見交換や医療的ケア児の一時預かりについて話し合い等を進めているのか。
A まだ行っていない。医療的ケア児を受け入れている施設は、相談できると考える。現在の委託契約は、医療的ケア児の一時預かりを想定してない。実施に当たり、事業者と費用等の調整や契約内容の見直し等の話し合いの必要がある。

Q 現在、医療的ケア児の受入れや、何かしらの形で受入れを実施している保育所や幼稚園は何園あるか。
A まだ行っていない。医療的ケア児を受け入れている施設は、相談できると考える。現在の委託契約は、医療的ケア児の一時預かりを想定してない。実施に当たり、事業者と費用等の調整や契約内容の見直し等の話し合いの必要がある。



小・中学校の給食費無償化について



まつもと ゆきこ
(共産党)



Q 無償化をと定例会議で求めたが、残念ながら良い答えを得られなかった。そんな中、学校給食センターを共同で運営する予定の日の出町が、今年度の10月より無償化を実施すると発表した。保護者負担軽減と教育に係る費用は無償という観点から、改めて本市での小・中学校給食費の無償化を要望するが、市の見解は。学校給食費の無償化は、本来、自治体ごとの政策で実施するものではなく、自治体間の格差が生じないよう国全体で取り組む政策であると考えているが、できるだけ負担軽減策を検討し、実施したいと考えている。
A 負担軽減策の内容は、市の財政状況や将来的な負担を踏まえて検討し、実施したいと考えている。

Q 市長会で国に要求をと3月定例会議で要望したが、その回答は。
A 東京都市長会及び東京都教育長会を介して、都から国へ働きかけるように要望している。都から国に対して要望している旨の回答はあるが、国からの回答はない。

他に秋川高校跡地及び秋川高校跡地周辺地区について質問した。

Q 日の出町のように年度内実施、無理ならば来年度の当初予算に計上できないか。





天野 正昭
(自民党志清会)



本市のごみ問題の現在と未来について伺う。

Q ごみの排出量とその処分に係る費用の推移と今後の予測は。

A 令和3年度以降、排出量は約9・6%減少、処分費は約7・6%増加している。今後、人口減少と資源循環型社会の進展で排出量は減少するが、処分費は収集処理コストの固定化と人件費の高騰で増加すると予測。

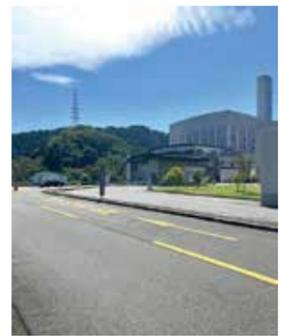
Q 環境負荷の低減とリサイクルの推進は。

A ごみの分別やリサイクルに対する市民の意識を向上させ、協力を促すことが不可欠。そのため、情報誌の発行や生ゴミ堆肥化講習会、フードドライブ、一斉清掃等を継続する。

Q ごみ収集における課題と今後の展望は。

A ごみの排出量は減少しているが、一般廃棄物処理基本計画の目標値には達していない。市民意識向上の取組を強化し、ごみ減量に効果のある施策を促進する。

他に令和6年度一般会計予算について質問した。



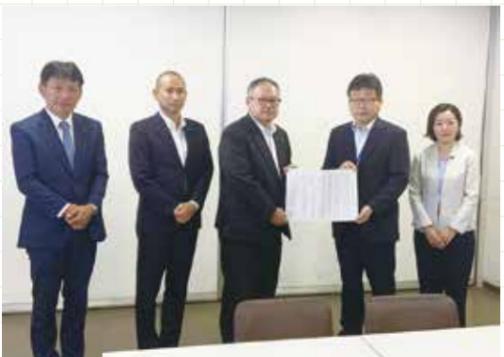
あきる野市議会活動レポート

西多摩地区議長会議員研修会



10月2日に西多摩地区議長会議員研修会がひのでグリーンプラザ(日の出町)で開催され、議員が参加しました。井上 源三氏(一般財団法人地方自治研究機構)を講師に招き、「ハラスメントの防止・根絶」をテーマに研修を行いました。

秋川南岸道路要望活動



あきる野市と檜原村の議会で組織する秋川南岸道路建設促進協議会は、8月28日に東京都西多摩建設事務所及び東京都建設局を訪れ、建設促進のための要望書を提出しました。

広報広聴委員会



広報広聴委員会委員が新しくなりました。これから2年間、このメンバーで「ギカイの時間」を編集します。よろしくお願ひします。
(前列左より)
辻よし子、原田ひろこ、天野正昭、関口えり子
(後列左より)
ひはら省吾、窪島成一、中村のりひと

下水道要望活動



あきる野市、日の出町、檜原村の議会で組織する秋川流域市町村下水道建設促進協議会は、8月9日に東京都総務局及び下水道局を訪れ、多摩川流域下水道秋川処理区の事業についての要望書を提出しました。

主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等番号	件名	議決結果	自由民主党志清会(11人) ※1	公明党(3人)	日本共産党あきる野市議団(3人)	明るい未来を創る会(2人)	くさしぎ(1人)	リメンバー(1人)
議案 50	あきる野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例	可決	○	○	×	○	×	×
議案 56	あきる野市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○
議案 67	令和6年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	×	×
陳情 6-5	民間建築物に係る石綿(アスベスト)等含有調査への助成制度を求める陳情書	不採択	×	×	○	○	○	○
陳情 6-6	マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書	不採択	×	×	○	○	○	○
陳情 6-7	あきる野市小中学校の給食費の無償化を求める陳情	不採択	×	○	○	○	×	○
議員提出議案 6-3	在日米軍人・軍属による事件・事故の発生時における地元自治体への周知徹底を求める意見書	否決	×	×	○	×	○	○

※1 議長は賛否に加わらない。

○：賛成 ×：反対